

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

670-719

事務事業名	平和資料収集事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	生涯学習・スポーツ課		包含する細々目	1	10	5	1	11	1	0
政策	6 地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり											
施策	61 地域資源の発見											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画		条例等				
		事業期間	13	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	市民	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			107844	107000		
	意図(成果は何か、対象をどう考えるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	平和推進活動を通じた平和意識の醸成	平和推進団体の活動数(満蒙・平和祈念等)	18目標	15	最終目標	
			18実績	15	19目標	15
			23目標		23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
			23目標		23実績	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	軍隊、軍属、満蒙開拓、抑留、被災など戦争に係る様々な(以下「戦争などの」という。)体験を語り継ぐ資料、遺品や資料を収集・保存するための方法の検討、既存の資料館等を視察し、収集・保存、展示方法の研修、広報等を通じて市内に存在する資料・遺品の調査と活用を考える。現状では、満蒙開拓記念館建設運動と平和祈念資料館建設運動が合同して満蒙開拓平和記念館建設運動に取り組んでいる。	オーラル・ヒストリーとしての戦争体験の資料収集。遺族等の所有する関係資料の収集業務は歴史研究所に移管した(平成18年度)。関係機関・平和団体との懇談会を開催した。また、飯田日中友好協会が7月の定期総会において満蒙開拓記念館建設運動に着手することを決定した。これに伴い、平和祈念館設置推進協議会が運動を合同することを決定し、満蒙開拓平和記念館建設推進協議会が構成され、市からオブザーバー参加している。なお、このことに関わって、平成18年12月に鈴加町在住の南井忠夫氏から平和活動・学習に活用する目的で篤志寄附1千円(市への寄附行為)を受領している。	平和祈念館建設推進協議会・満蒙開拓平和記念館建設推進協議会開催回数	15回
	18年度の実績			
	19年度計画	満蒙開拓平和記念館建設推進協議会が構成され、市からオブザーバー参加している。平和に関わる学習は各公民館の講座等で幅広く平和を考える活動として展開する。	平和祈念館建設推進協議会・満蒙開拓平和記念館建設推進協議会開催回数	15回

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源		
	事業費計(A)	0	0
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	0	0

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	見出される	見出された地域資源の数	現状値	1014	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	1100
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
平成12年6月議会で「平和記念館(仮称)の設置について」請願採択。内容は、戦争に関わる遺品・実物資料の収集や戦争体験・生き証人の声の収録への協力、戦争に関わる遺跡の保存「平和記念館」の設置、平和教育・平和運動の推進及び推進団体への支援	平和資料収集業務は歴史研究所に移管。平和祈念資料館の建設推進から、満蒙開拓平和記念館の建設推進運動が開始された。	平成12年6月議会で「平和記念館(仮称)の設置について」請願採択。 平成12年11月23日、飯田市勤労者協議会会長から、「平和記念館(仮称)の設置に向けて、資料収集のための調査費を計上されたい。」との市政要望あり。 平成19年3月議会において、満蒙開拓平和記念資料館建設に対する市の協力について質問がされた。

## 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) <b>結びつく</b> (その理由) 地域資源としての満蒙開拓史の再発見に結びつく。これらを活用した平和学習側面に活用する。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) <b>余地がある</b> (その理由) 歴史研究所の満蒙開拓に関する研究成果との相乗効果が必要である。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) <b>必要性がない</b> (その理由) 世代を超えた普遍的な課題である。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) <b>影響あり</b> (その理由) 平和意識の醸成は、地方自治の前提条件である。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)			(評価) <b>統合不可能</b> (類似事業名、理由) 資料収集との整理を図ったため、類似性は解消している。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) <b>必要ある</b> (その理由) 戦争遂行は国家的に行われたものであり、多くの国民に悲惨な犠牲をもたらした。これらの実態から考えて、公的な責任で、地域史として、さらには世界の人々と共存して行くことの重要性を後世に伝えていく必要がある。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) <b>不可能</b> (その理由) 社会教育活動の一環である。
公平性 評価			成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) <b>不可能</b> (その理由)	
			受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由) 受益者は市民である。公的な責任において実施すべき事業であり、市民負担は発生しない。	

## 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 歴史研究所の歴史資料収集の一環として、戦争資料絵の収集を進めていく。その研究成果と平和学習への活用を生徒学習部門と歴史研究部門が連携して進めていく。また、その成果を市民の平和活動に還元する。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	歴史研究所の目的と実際の事業の整合性を取る。

### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	